

満開!!

北九州で活躍中の
シニアサークル
紹介コーナー

シニアライフ

【山茶花北九州ひびき俳句会】no.66

設立は2008年。この10月で206回目となります。初級者から上級者まで市内外から集まり、季題(季語)の意味や写生の方法などを教え合う、和気あいあいとした句会です。特記すべきは、歴史と伝統を有する俳誌「山茶花」の主宰である著名な三村純也先生の選評・添削が受けられること。自然の見方も変わり、古典的仮名遣いも身につきます。



幹事
森島 邦彦さん(80歳)

誰でも、どこでも、いつでもできる俳句は、世界一シンプルで優れた文芸だと思っています。今まで見過ごしていたものを注意深く見て、発見したものを自分の言葉で表現するのですが、たった17文字で表現するのは難しく、苦労もあります。でも人生を豊かにしてくれます。皆さんに講評してもらうのも喜びになるし、それが俳句の面白さです。

外村 勢佳さん(89歳)

私は設立時から参加しています。先生は厳しいけれど、愛があります。また熱心に指導してくださるから、この会が続いているのだと思います。私は30代で俳句を初めて、全国津々浦々吟行の旅に出かけ、皆さんと一緒に日本の素晴らしさを感じてきました。それを言葉に表現するのは難しいですけど、素直な子どもの気持ちで詠えば、句はできると思います。



林 礼子さん(68歳)

外村さんから誘われ、会に参加して10年くらいです。全くの素人でしたが、楽しいし勉強になります。魅力は、ただ漠然と見ていたものが今までとは違った見え方になるし、季語を知ることによっていろんな発見や気づきを得られること。それが生活に彩りと潤いを与えてくれます。今後も純也先生のもとで少しでも深く詩情を持って、句を作りたいと思います。



山茶花 北九州ひびき俳句会

活動日／毎月第4土曜日
13:00～15:00

会 員／19名

活動内容／句の発表、互選、添削など

■お問合せ先

八幡西区 陣原市民センター
☎093-641-0177